



図書館新聞

vol.22

おすすめ本・活動報告・編集後記

おすすめ本

テーマ 2年：ビジネス本 1年：ファンタジー 司書さん：エッセイ本

OUTPUT

THE POWER OF OUTPUT: How to Change Learning to Outcome



学びを結果に変える アウトプット 大全

精神科医
榎沢紫苑

説明 アイデア 雑談 交渉 etc...

すべての能力が最大化する

日本一情報を発信する精神科医が贈る

脳科学に裏付けられた

伝え方・書き方・動き方

アウトプット大全 榎沢 紫苑 著
サンクチュアリ出版 2018

近年「アウトプット」という言葉をよく耳にしませんか。この本は医者である筆者が医学的観点からアウトプットの効果や重要性、実践方法等を述べています。様々な場面で活用できるアウトプット法が多数紹介されています。WordやPower Point、論文のポイントなど学業面においても役立つ情報が得られます。テーマごとに分かれていますから短時間でも読めます。ぜひ読んでみて下さい（図書館にあります）。

2年 板持 乃野可

会社では教えてもらえない 人を動かせる

人の文章のキホン 吉田 裕子 著

すばる舎 2018

一生懸命書いているのに文章が伝わりにくい…メールを打つのに苦勞してしまう、そんなあなたにオススメの一冊です。これから社会人として文章を楽々書けるようになりたい、正しい日本語が使えるようになりたいという人や就職活動を始める人には是非読んでほしいです。

2年 景山 真優

会社では教えてもらえない

人を動かせる人の 文章 のキホン

吉田裕子 Yoshida Yuko

- ・ビジネスの文章に名文は必要ない
- ・1文は50字、1段落は150字までが鉄則
- ・まずは箇条書きで要点をまとめてみる
- ・「の」「こと」の連続を避ける
- ・「しかし」「そして」をなんとなく使わない
- ・読者はこうやって早く

一生懸命
書いているのに、
まともでない、
わかりづらい…

今話題の
「読者力本」
ベストセラー
著者が
日本語の超基本を
徹底解説

ライオンと魔女

C.S.ルイス作
瀬田貞二訳



ライオンと魔女 C.Sルイス 作

瀬田 貞二 訳 岩波書店 2000

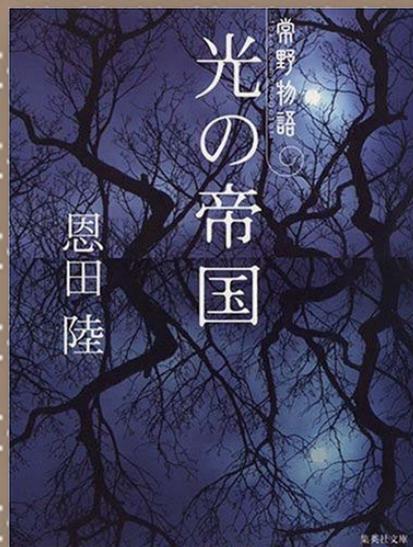
ピーター、スーザン、エドモンド、ルーシィの四人兄弟は、戦争の空襲を避けるためにロンドンから地方へ疎開した。引っ越してきた洋館はとても広い屋敷で、四人はたくさんの部屋の中で衣装ダンスだけが置かれている部屋を見つける。気になったルーシィがダンスをあげ、奥へと進むと、見えたのは雪が広がった世界。そこは、白い魔女に支配された国「ナルニア」だった。

1年 松井 美倭

光の帝国 常野物語 恩田 陸 著 集英社 2000

膨大な書物を記憶する一家、未来を覗く少女、得体の知れない的を「裏返し」て戦う女性——私たちに紛れてそっと存在している「常野」と呼ばれる一族には不思議な力がある。彼らは目立たぬよう、社会の異物とされぬように、穏やかに人々を見守っていた……。常野一族と、彼らを取り巻く人々の優しさと柔らかさ、そして悲しみと寂しさを淡く描いた、少し身近なファンタジーの短編集。

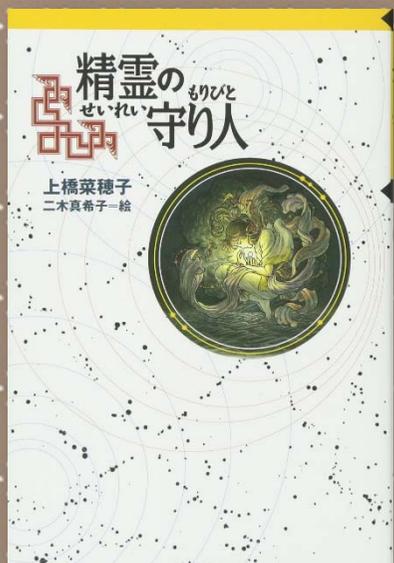
1年 長谷川 章乃

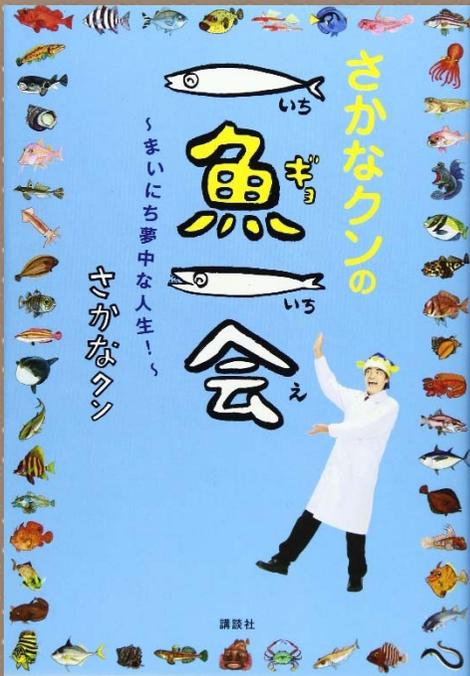


精霊の守り人 上橋 菜穂子 著 偕成社 2006

精霊の守り人としての運命を背負わされた新ヨゴ皇国の第二王子チャグムと女用心棒バルサによる冒険譚。圧倒的な自然観と不思議な異世界観に引き込まれました。また、ストーリーの展開のテンポもよく、読み飽きないです。子供向けになのですが大学生でも楽しめます。小学生のころに一度読んだことある方も再読してみてもいいのではないでしょうか。

1年 仲田 桃子





さかなクンの一魚一会 ～まいにち夢中な人生！～

さかなクン 著 講談社 2016

さかな大好き、さかなクン。さかなクンは、スイスイ、今の地位までのぼりつめたと思っていました。『一魚一会』は、私のさかなクンへのイメージをがらりと変えてくれました。さかなクンの、辛い経験、数々の苦勞。でも、さかなクンの周りには必ず奇跡がおこるのです。さかなクンみたいに、うまうまはいかないかもしれない。でも、自分の頑張っていることに、この本は勇気を与えてくれるはず。それと、さかなクンのお母さんが素晴らしい。こんな風に子育てできたらなああと、子どもを産む前に読みたかった…と心底思いました。これからお父さんお母さんになるであろうみなさん、ぜひ読んでみてください！

おはなしレストランライブラリー司書 尾崎さん

ももこの21世紀日記 シリーズ

さくらももこ 著 幻冬舎 2005

私がエッセイというジャンルの本を初めて（意識して）読んだのは、この本だったように思います。おすすめポイントは、もちろん「おもしろい」「笑える」というところです。どうしてこんなにおもしろいことが起こるのだろうと思っていましたが、よく読むと実は日々の出来事が綴られているだけです。風邪を引いた話。果物を食べた時の話。言い間違いの話。このように書いてしまうと本当にただの日常。ですが、さくらさんの手にかかるとこの日常がとても楽しく、残念な出来事もハッピーに感じられてしまうから不思議です。そこに気が付くとおもしろいだけではなく、ちょっとした日常の楽しさに気付かせてくれる、そんな心が元気になる作品です。

図書館司書 野々村さん



1年の振り返り

今年度はできる限りたくさんの活動に参加し、たくさんの経験をさせていただきました。中でも印象に残っているのは、ABDという読書会についての活動です。ABDでは1人2分でプレゼンをします。回数を重ねるうちに人前で話すことに少しですが慣れたかなと思うので参加してよかったです。島根大学や浜田キャンパス、地域の方との交流も同時に行うことができ、とても充実した時間を過ごすことができました。 田中 七海

充実した委員会活動を送ることができました。特に印象に残っているのが、ABD（アクティブ・ブック・ダイアログ）という、新しい形の読書会に初めて参加したことです。コミュニケーション能力を養うことができる面白い読書会なので、今後も積極的に続けて欲しいです。また、学生に向けたビブリオバトル学内大会が今年度に復活したことも、思い出深いです。新しい取り組みを沢山取り入れられた1年だったのではないのでしょうか。 保科 舞

今年一年はあまりイベントなどには参加しませんでした。学校祭や、読書会で司会を務めたりまた初めて広島で他校の図書委員会と関わったときは新鮮な気持ちで交流することができました。二年間図書委員としてあまり活動できる機会は少なかったのですが、楽しかったです。ありがとうございました。

景山 真優

この一年間は、本を通してたくさんの方と交流できたと思います。3キャンパス交流会、学生協働交流シンポジウム、合同読書会、BOOK在月、島根大学図書館コンシェルジュさんとの研修合宿など、キャンパス外の方と交流する機会にたくさん参加できた一年間でした。これらの交流を経て得たアイデアを、企画として実行することもできました。短大での学生生活は短かったのですが、図書委員の活動は悔いなく終えることができました。 中野 そよ香

今年も去年に引き続き、楽しく活動ができたと思います。今年は、大学図書館学生協働交流シンポジウムと図書館総合展準備の係のリーダーを務めさせていただきました。至らない点ばかりで、迷惑をかけることも多々ありましたが、同じ係のメンバーと力を合わせることで、無事乗り切ることができました。他にも、選書やBOOK存月にも参加させていただき、充実した時間を過ごすことが出来たと思います。

春井 麻更

2年間、図書委員として活動させていただきました。2年ではおはなしマラソン・としょかんクイズのリーダーもさせていただきました。頼りないリーダーだったと思いますが、協力して下さりありがとうございました。図書委員として活動を行うことが出来て良かったです。司書の方々や図書委員の皆さん、本当にありがとうございました。 岩本 奈菜子

今年度の活動で印象的なのは読書マラソン及び飛鳥祭です。初めて自分がリーダーとなって動いたイベントで、企画運営の難しさを知りました。しかし、皆が力を合わせて成功させることができてよかったです。貴重な経験となりました。

岩佐 由可里

楽しく活動できました。1番思い出に残っている活動はシンポジウムです。図書館の理解を深めるだけでなく、他大学の学生との交流を通じて刺激をもらいました。2年間十分な活動ができたわけではありませんが、委員会活動を通して多くの方々と出会えたことに心から感謝しています。ありがとうございました。 板持 乃野可

今年度の活動で印象深かったのは、広島で開催されたシンポジウムに参加したことです。大学図書館に携わる全国の学生の活動内容を知ることができ、良い刺激になりました。そこで得たヒントを利用して、先生のおすすめ本企画も進んでるので、自分たちが満足できるようにやり遂げたいと思います。今年度は参加出来なかった行事も多くあったので、来年度は悔いが残らぬよう、図書委員としての活動を行いたいです。 佐藤 日菜子

図書委員会に入って実際に活動してみて、大変だと思いました。人に本を紹介することの難しさを実感しました。なかなか積極的に活動に参加することが難しかったですが、反省点を次に生かし、次からはなるべく参加出来たらいいなと思います。図書委員の方全員とコミュニケーションをとる時間がなかったので、同級生や先輩方、先生、他キャンパスの図書委員の方たちとももう少し積極的に話していきたいと思います。 松井 美倖

私が特に楽しかった活動は、島根大学で行ったABD会です。「嫌われる勇氣」を担当を決め要約しました。そして、担当した要約を合わせるとどんな内容の本か分かり一冊読んだような気持ちになりました。要約を通して様々な人と意見を交わしたり、新しい事を沢山知ることができ、普段読まないジャンルの本も読みたくなりました。 和田 祐紀

図書委員会での1年の活動を振り返ると、最も思い出に残っているのが3キャンパス交流会に参加したことです。初めてABDをやってみて、本の内容を深く掘り下げて議論することの難しさを知りました。これもまた本を楽しむ一つの方法だと思いました。私は、図書委員会の活動に積極的に参加できていなかったことを反省しています。これから私たちが主体となっていくので、企画・運営にしっかり尽力できたらいいなと思います。

畑 ひめか

今年度の図書委員の活動で私が特に思い出に残っているのは、学園祭でのブックカフェです。大学に入って初めての学園祭だった事もあり、どのようなものなのだろうと楽しみにしていましたが、高校の時とは違うにぎやかな雰囲気の中、図書委員の一員として活動でき、また、委員全員で交流もできたため、有意義な学園祭になったと思います。来年度も委員全体で力を合わせ、活動していきたいです。 田中 舞

本にかかわる活動を大学でも続けていきたいと思い、図書委員に参加して、多くの経験ができました。シンポジウムで他大学の学生や司書の方たちと交流できたことは、高校の図書委員でも体験したことがなかったので、とても印象に残りました。学生同士で意見を出し合って活動の内容を決めていくこともよい経験になりました。ほかの活動であまり参加できていない活動もあるので今年はずっと積極的に参加していきたいです。 野津 成美



学生図書委員として1年間活動をし、ビデオバトルやシンポジウムなどに参加したことで、様々な経験をすることができました。私は、中学校や高校などで、あまり図書館の活動に参加してこなかったため、ポップを作成したこともなく、はじめはとて不安でしたが、良い雰囲気の中、楽しく活動することができました。1年間ありがとうございました。 里田 絵利子

学生図書委員に入り、様々な活動に参加することができてうれしかったです。特に、学生協働交流シンポジウムや3キャンパス交流会などで、たくさんの人の話を聞くことができて、とても勉強になりました。また、入って最初の頃は緊張していましたが、先輩方がとてもやさしく、すぐに緊張はなくなりました。来年度は先輩方の様に新入生と一緒に、楽しく学生図書委員の活動をしていきたいと思います。 大廻 日和

1年を振り返ってみて、私はほとんど活動に参加できていないように思いました。しかし、参加した活動は印象的なものが多かったので、来年からはもっと積極的に参加していきたいです。また、初めての事が多く、先輩に頼りっぱなしだったなと思います。来年度から活動に参加できなかったものなどはわからないことが多く、戸惑うことも今以上に増えるかもしれませんが、参加した人中心にしっかり情報共有していきたいと思います。 野村 星歌

あまり主なイベントには今年一年の中では参加できませんでしたが、飛鳥祭やしまね大交流会などを通して多くの人と交流で来たので良かったです。また、POPや栞、図書館新聞の表紙などでかかわることが多かったので広報活動(?)でも来年度頑張りたいです。 仲田 桃子

広島大学で行われたシンポジウムでは、人格面での学びもありました。グループで悩みを話し合う際、グループ内のほとんどが2年生や3年生でした。1年生でまだそんなに活動に参加してきていない私が話してもその人たちにとって意味のある時間なのか不安でした。しかし、決して年上だからと言って驕った態度は見せずに真摯に向き合ってくれて、私もどんな相手でも平等に接することができるようになりたいと思いました。 石丸 夕姫

今年度の活動もあと僅かとなってしまいましたが、この間図書委員会に入っただけのような気がしています。飛鳥祭での出店や、島根大交流会でのプレゼンテーションが、自分から積極的に参加した活動として印象に残っています。一年間の活動を通して、昨年までは考えもしなかったようなほど多くの方々に知り合うことができ、沢山の交流を通して自分も成長できたと思います。来年も精一杯、良い図書館を作っていけるよう頑張ります！

長谷川 章乃

私は、読書が好きで友達に欲しいと思って学生図書委員会に入りました。一年間活動してみて、学園祭でフランクフルトを焼いたことが一番楽しかったです。交流会やシンポジウムでは他の大学の生徒や学外の方と話す機会もあってよい刺激になりました。図書委員会の活動を通して図書館が自分にとってより居心地の良い場所になったと思います。 蔭山 実玲



主な活動報告

飛鳥祭

飛鳥祭の2日間でBOOKカフェを開催しました。ドリンクやフランクフルト、しおり等を販売しました。フルーツジュースは8月に試作をして完成しました。カフェ内では本とPOPの展示をしました。多くのお客さまにご来店いただけて嬉しかったです。準備から片づけまで大変でしたが、みんなで協力して終わることができました。



合同読書会

8月に学生と地域の方との合同読書会を開催しました。課題本は村田紗耶香著『コンビニ人間』でした。本に対する理解が深まり、地域の方と交流できた良い機会となりました。

選書

6月と11月に今井書店グループセンター店で選書を行いました。後日自分が選んだ本のPOPを作りました。写真は本とPOPを本棚に並べているところです。レイアウトをみんなで考えながらしました。2年生にとっては最後の委員会活動となりました。



3 キャンパス学生図書委員交流会

島根県立大学の松江・出雲・浜田キャンパスの学生図書委員会で交流会を行いました。出雲キャンパスの学生図書委員会の出展ブースでブックカバーを作ったり、POP 作製・投票をしたりなど、本に関する様々な活動を一緒にしました。普段は他キャンパスの学生と関わる機会がありませんので新鮮でした。

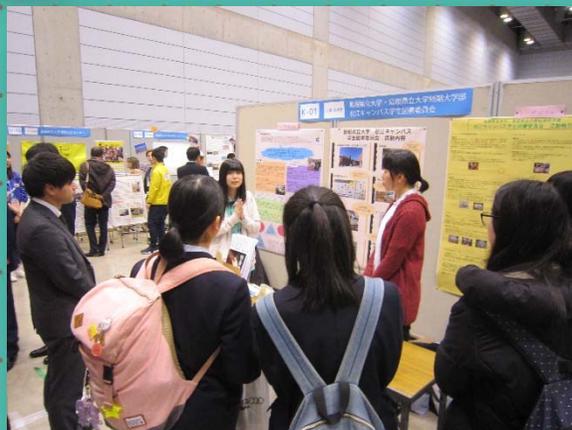


BOOK 在月

10月にカラコロ工房で行われたBOOK 在月に参加し、学内で集めた古本を販売しました。みなさんの協力のおかげで多くの本が集まりました。ありがとうございました。上の写真はBOOK 在月に向けて、準備をしているところです。当日は多くのお客さまがご来店下さいました。

しまね大交流会

11月にくにびきメッセで開催された「しまね大交流会」に参加し、ポスターセッションをしました。企業や行政、学生など多くの方と交流することができました。



編集後記

おすすめ本のテーマはもうちょっとアイデアを練ることができればよかったと思っています。図書館新聞に記事を書くこともこれで最後だと思うとどうにかできなかつたかなと反省ばかりですが、周りの方々に助けて頂いて本当にありがとうございました。2年間やりましたが、やはり大変な作業だったと思いました。

2年 景山 真優

vol.21 に引き続き表紙を担当しました。毎年表紙が女の子だったので男の子も表紙にあげてあげたいです。おすすめ本の紹介では私は興味がなかったジャンルだったので図書館新聞を参考に気になるものがあれば読んでみたいと思います。次も図書館新聞にかかわる機会があればもう少し切に間に合うように頑張りたいです。

1年 仲田 桃子

おすすめした本は、小学生のころに読んだ本で、今でも強く印象に残っている本です。大学生になってからファンタジーを読む機会が少なくなっていたので、この機会に読み返すことができ良かったです。ファンタジーというとなかなか現実味がなくて読みづらい人もいるかもしれませんが、展開がとても面白い本なのでぜひ読んでみて下さい。

1年 松井 美倅

今回のおすすめ本のテーマである「ファンタジー」。どの本を紹介するか迷ったのですが、自分の日常の中に溶け込んでいるかもしれないファンタジー、というロマンを感じる作品にしました（実は前回と作者が同じ事にこれを書きながら気づきました）。記事を作成させていただいたのは2回目になりますが、本についての文章が書けるのが本当に楽しくて、図書館新聞に携われて良かったな、と心から感じています。ありがとうございました！

1年 長谷川 章乃

2年間、図書館新聞の作成に携わりました。あまり目立たない活動でしたが、本とパソコン操作が好きなので楽しかったです。今号の発行は私のミスで遅くなってしまい、申し訳なく思っております。短期大学での2年間は勉強やアルバイト、就職活動等に多くの時間を割いていたこともあり、図書委員会の活動には昨年同様積極的に参加できなかったのが悔やまれます。新聞内容も毎回同じでしたから、もう少し工夫を凝らすべきだったと反省しています。来年度の新聞作成に期待しています。

2年 板持 乃野可